

マドリーム通信

マドリッド日本人学校
Colegio japonés de Madrid
文責 堀内正樹
令和元年11月4日 No. 8

読書の秋

文化祭では児童生徒が練習の成果を發揮し、大変すばらしい姿を見ることができました。

子どもたちが安心して思いきり表現できることがマド日のすばらしさだと考えます。これも保護者の皆様の励ましのおかげです。今後ともご支援のほどよろしくをお願いいたします。

さて、秋は読書の季節です。

マドリッド日本人学校でも10月29日～11月8日を読書週間とし、読書に対する意欲を高めるため様々な取り組みを企画しています。

ところで、ベネッセが小学生を対象に読書と教科の学力の関係について調査をしたところ、1年間に幅広い種類の読書をした子どもほど、興味や知識の広がり、考える力(思考力)の向上、想像力の涵養などさまざまな力の高まりを感じており、そのような子どもは、本の読み方を工夫していることがわかりました。調査から分かった傾向は以下の通りです。

- 読書をすることで気づいた自分の変化
 - ・わからないことを自分で調べるようになった。
 - ・難しいことを考えるようになった。
 - ・新しいアイデアが浮かぶようになった。
- 本を読む時の工夫
 - ・どこが大切か考えながら読んでいる。
 - ・分からない言葉を調べ、人に聞きながら読んでいる。
- 教科の学力との関係
 - ・多くのジャンルの本を読んでいる子どもほど学力が向上している。
 - ・社会科の内容の理解との関係がみられた。
- 読書のジャンルを広げる切り口
 - ・手に取りやすい切り口の科学・歴史の本が読書のジャンルを広げている。

学校での学びのスタイルも以前とは変わり、学校は、「教師が大勢の生徒に一齐に教える場所」から、「子どもたち一人一人が情報を集め、自分の意見を持ち、それをもとに話し合い結論へと導いていく、その過程でお互いに学び合い高め合う場所」へと変わりつつあります。便利な時代になってきても「読書」を通してたくさんの知識を得て、たくさんの人の考え方と出会うことは変わりありません。これからの学びには今まで以上に読書の習慣が必要になっていくのでしょう。

マド日にもたくさんの本があり、毎日本を借りていく子供の姿があります。大切にしていきたい習慣です。



11月の予定

1	金	諸聖人の日
2	土	
3	日	英語検定2次
4	月	全校集会
5	火	中学部基礎コン(漢字)
6	水	パエージャランチ チャレンジ漢字テスト
7	木	委員会
8	金	
9	土	聖アルムデーナの日
10	日	第3回実力テスト
11	月	社会見学
12	火	児童生徒企画集会・学校公開日(～14日)
13	水	中華ランチ
14	木	社会見学
15	金	中学部補充学習会 部活動(小学部のみ)
16	土	
17	日	
18	月	中学部補充学習会
19	火	中学部補充学習会
20	水	中学部補充学習会 ポカディージョランチ
21	木	中学部期末テスト 講師招聘学習(切り絵)
22	金	中学部期末テスト 部活動
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	中華ランチ
28	木	
29	金	部活動
30	土	



学校公開週間

学校公開週間を下記の要領で行います。普段着のマド日をぜひご覧ください。

1. 期間 令和元年11月12日(火)～11月14日(木)
2. 時間 8:40～16:20
3. その他

授業見学はどの時間でも自由です。

あらかじめ見学される授業は申込書にてご連絡ください。



学びが実った文化祭

10月27日、多くの皆様にご来場いただき、「マドリッド日本人学校文化祭」が開催されました。子どもたちは、毎日の授業での学びをもとにたくさんの演目にチャレンジしました。どの演目にも真剣に取り組み、思いきり表現しようとする子どもたちの姿に心を揺さぶられました。この演目練習の過程で、日々の学びはさらに深まったと感じています。

●小学部スペイン語発表

スペイン語でテレビのニュース番組を演じました。高学年児童が日々のニュース、低学年児童はコマースをスペイン語で伝えました。

●中学部英語劇【The crane lady】

日本の代表的な物語「つるの恩返し」を英語で演じました。この物語で伝えたい「日本人の心」を、英語で表現しました。



●小学部劇【西遊記】



西遊記をオペレッタで表現しました。高学年児童の堂々とした演技、低学年児童の元気な歌声で楽しい演目となりました。

●中学部劇【グッド バイ マイ…】

「生きるって?」「運命って?」「未来をつかみ取るって?」難しいフレーズが出てくる台本でした。何回も台詞を読み返し、通し練習をしていく中で互いに言葉の意味について学びを深めていきました。



●全校合唱

「心の中にきらめいて」



今年は2部合唱に挑戦しました。

低音パートが曲に豊かさをもたらしました。

派遣教員のつぶやき

音楽の手カラ

八木啓司

私の人生にとって、大切にしているもののの中に「音楽」があります。

他にも家族や友人、これまで出会った教え子たち、スポーツなど、大切にしているものを数え出したらきりがありません。しかも楽器を演奏したり、歌を歌ったりすることが得意なわけではありませんが、自分自身の人生に音楽は欠かせないものです。

先日行われた文化祭の合唱曲「心の中にきらめいて」は、自分にとって大切な宝物になりました。将来、日本の学校でこの曲を聞いたら、きっとマドリッドのみなさんのことを思い浮かべることでしよう。

それと同じように、学生時代や教員になってからのターニングポイントとなる瞬間に、心に残っている曲が私には存在します。好きな歌手の曲だったり、教え子が歌ってくれた曲だったり様々ですが、大好きな曲を聞くだけで、その時代にタイムスリップしたような気分になります。辛いときや悲しいときに、これまでどれほど音楽に助けられたか分かりません。

2019年も気づけばあと2ヶ月となりました。年が明けると、卒業式に向けての準備が始まります。私にとってはマドリッドで初めての卒業式となるので、今年の中学3年生と小学6年生が歌う合唱を今からとても楽しみにしています。みなさんの心にずっとずっと残るものになってほしいなと思います。

最後に、たくさんある大好きな曲のうち、かりゆし58の「オワリはじまり」という曲のワンフレーズを紹介します。これは、私が教員になりたての頃、ガムシャラに毎日過ごしていたときに、車のラジオから流れてきた曲です。この曲を聴いて勇気づけられたことを今でも思い出します。音楽には自分だけではなく、周りまでも勇気づけてくれる不思議な「チカラ」があります。みなさんもこれから出会う多くの音楽とともに、一日一日を大切に生きてほしいと思います。

「もうすぐ今日が終わる
やり残したことはないかい
親友と語り合ったかい 燃
えるような恋をしたかい
一生忘れないような出来
事に出会えたかい かけが
えのない時間を胸に刻み
込んだかい」

